

日光川水閘門を調査

党愛知県議団

地域守る設備 改築し強化



日光川水閘門を訪れ、担当者と意見を交わす党愛知県議団

公明党愛知県議団はこのほど、県が改築して3月に供用を始めた日光川水閘門(同県飛島村)を調査した。水閘門は、川を遮断する形で設けた門。水の流れを調節する機能を持つ。

日光川の中下流域は海拔ゼロメートル地帯で、河川の氾濫などによる水害の危険性が高い。旧水閘門は1962年設置で、老朽化や地盤沈下が進行。大規模な

高潮や津波を防げない可能性があり、国土交通省の交付金を受けて2009年から県が改築を進めていた。

県担当者は新水閘門について「大規模な津波や台風による高潮などの被害から地域を守る」と述べた。

党県議団はこれまで2回にわたって国交省を訪れ、石井啓一国交相(公明党)に対し、改築に十分な予算を確保するよう求めていた。